

作成：横田

NPO 神戸平和研究所 1月度理事会 議事録

開催日：2024年1月18日（木）午前11時～午後2時

場所：サンビルダー55ビル3階会議室

参加者：理事・ゲスト数名

議題：

挨拶：榎浩二理事長

○ 第7回「祈りー世界平和祈りの幕開け」のお御礼

岸田総理の参加はできなかった。参加者208名だった。

○ 神楽伝承委員会が3月開催予定

神楽国際連盟として4月25日～27日バリ島で実施予定（バリ島にも獅子舞いやナマハゲの風習あり）

○ 山川流家元の尽力で山川流華道展をベトナムで。

ベトナム国ニンビンツアー4月27～29日間 ニンビン レジェンド ホテル・世界遺産見学

○ イスラエル国6月1日～4日間講演

○ 神楽チーム 徳島県後藤田県知事ら9月7日～8日 フィレンツェ公演

補足：横田裕理事 専門部方面副部長

サンマリノ共和国大使館の新年懇親会2月15日（木）午後6時～東京大神宮

サンマリノ共和国での「日本のまつり」開催5月25日から26日

ゲスト紹介：シディキ理事

小林拓哉様 兵庫県産業労働部 国際局長からのご挨拶

兵庫県は多文化国際都市である。外国人在住12万人余り

兵庫県は5つ（摂津・丹波・播磨・有馬・淡路）の地域があり、丹波の人口は9万人、淡路の人口は12万人でありそれに匹敵する外国人が住んでいる。

多文化共生の先導的組織であり、未来性が楽しみである。

共生とは仲良くしていくことであるが、昨今の世界は逆行しているが。

（国際交流官 大江伸一郎様同行）

ゲスト紹介：横田裕理事

山本サトシ様 出版活動報告

W出版記念講演が2月25日15:00～19:00 京都テルサホールにて

「今日、誰のために生きる？」Shogen著 & 「サナトクマラとの約束」山本サトシ著の紹介チラシ配布。

○ 協議

1) 2024.11.11 第8回 「祈り一世界平和祈りの幕開け」について

メインゲスト：世界連邦運動協議会 大橋新会長

湯川由規子女史顧問就任（案）

2) 東京事務所開設

3) 理事会、事務局会議日程

理事会：3月度は3月8日（金）、7月度は7月11日に決定

事務局会議：2月11日（メイン・ゲストの検討など）

古代史を学ぶ会：別紙のとおり

○ 仙浩二理事長の談話

二つのシオンがある。（中東のイスラエルと日本）この提言によって日本は注目！

2013年 折り紙プラン会：ユダヤ人とパレスチナ人

駐日イスラエル ニシム・ベンシリット大使、激動時代の6年の任期を終えた。

ユダヤ人は欧米から支援を受けているが信頼はしていない。サウジアラビア人も信頼していない。信頼しているのは日本しかないと。

KPRIのような活動をハーバード大学はやりかけたが宗教の共通性を見出す研究に取り組んだができなかった。

頼朝先生、加藤先生、池長先生らの指導を受けてきた。

最先端の研究をしているハーバード大学、MIT、ケンブリッジ大学の集いがヘブライ大学であり、世界で講演ができる資格を得るために6月末に出向きます。

○ 遠藤祐子理事よりベトナム報告

山川流家元を輩出する活動を展開、「祈り一世界平和 祈りの幕開け」に6回参加者全員による生け花に協賛しました。ベトナムには5回渡った。今80歳の傘寿を記念して4月27日～29日ツアを計画。ニンビンのレジェンドホテルに宿泊・食事付き総額¥70,000-の特別価格。この華道家元輩出のイベントにはベトナム国の大蔵2名、外務省関係者ら列席される予定。

日本人家庭の中にある伝統文化を継承するため華道山川流家元の輩出で世界に発信して参ります。東宮御所につなげてはどうか（金岡会長からの助言あり）

○ 関信治理事より湊川神社能楽堂の報告

兵庫県神戸の財産と言える神能伝殿 神戸能楽堂で体験できた。

楠木正成公と、能楽の祖観阿弥世阿弥の血縁関係から建設された能楽堂。

○ シディキ理事より中村哲医師のアフガニスタンの闘い

中村哲医師の娘さん（中村あきこ女史）が NGO ペルシャ会を引き継ぐことになった。

中村哲医師は土木工事（河川）によって、水流の流れを変えた事業で 100 万人の人々を救うことができた。

人口 3800 万人以上いるので、同じ工事を 39 できれば全国に潤いある地に生まれ変えられる。

○ 都一郎理事より次回の祈りの会は 8 回目になるための提案

淡路島は国生みの神話の地、西脇はへそ、シオンの山、スサノウノミコトの前方後円墳がある。第 7 回の祈りの会でイタリアの大天使が 14000 年間の経文時代は平和であったことを発言され驚いた。私は道場に住んでいる、「ここは日本の道場であった。今年の祈りの会は 8 回目となるので新しいアイデアとして、テーマ：分離から統合をかけてはどうか？

具体的には全世界の国々の水を持参して統合するとか？

○ 沢山正明理事より NPO 法人日本モルドバ友好協会理事長

1994 年以来 50 回小国モルドバ国訪問し、復興支援をしてきた。

30 年過ぎました。以下 3 つの目標で日本・モルドバ経済国際交流を実現したい。

- ① モルドバ外国人労働者の受け入れ
- ② モルドバへの中小企業進出
- ③ モルドバからの特産物・農産物の輸入

別紙配布の「2024 を迎えて」を参照ください。

○ 平岡五城理事より

今年の祈りの会のゲストとして、世界連邦協議会の大橋新会長を招聘依頼はどうか？ また 4 月に完成する湯川秀樹・スミ夫妻の記念館完成に伴って、湯川由規子女史の同席願いたい。（一応了承して頂いた）

○ 志田理事より大本教

教誨師を拝命した。「さしせせそ」の味の熟成文化がある。取り入れて熟成するのが日本の伝統文化と言える。

○ その他 京都市長選挙に太秦の現職府議会二之湯議員が立候補した。応援願いたい。

添付資料

- 1) KPRI 理事会式次第
- 2) 理事会・事務局長会・学びの会 スケジュール
- 3) 第7回 祈り 世界平和祈りの幕開け 収支一覧
- 4) 「今日、誰のために生きる？」SHOGEN著 X 「サナトクマラとの約束」
山本サトシ著 W 出版記念講演チラシ
- 5) 日本・サンマリノ国際交流イベント 懇親会のご案内
- 6) 2024年を迎えて NPO法人日本モルドバ友好協会 倉澤正明理事長 挨拶

以上